

2024 年度事業報告

2024 年度に実施した事業は次のとおりである。

I. 事業報告

1. 出版事業

1.1 「環境情報科学」の発行

- ・機関誌「環境情報科学」を計 4 回発行し、会員に配布した。

各号については編集委員会において特集テーマを定め、当該分野の研究者等の寄稿による最新の知見等の特集記事として掲載した。また、「環境政策の最前線」と題した連載記事を毎号掲載した。

各号の特集テーマや発行時期については以下の通りである。

- ① 53 巻 1 号 特集：持続可能な消費と生産
＜環境政策の最前線＞ネイチャーポジティブ経済に向けた国際ルール形成による市場創造とデータ経済
その他：第 20 回環境情報科学ポスターセッション開催報告・発表要旨集ほか
(2024 年 4 月 15 日発行, 168pp.)
 - ② 53 巻 2 号 特集：カーボンニュートラル社会実現の鍵「蓄電技術」
＜環境政策の最前線＞座談会 「衛星と環境」
その他：2023 年度 一般公開シンポジウム 開催報告 ほか
(2024 年 7 月 15 日発行, 92pp.)
 - ③ 53 巻 3 号 特集：人と地球のウェルビーイング
＜環境政策の最前線＞第 6 次環境基本計画の概要と策定の背景
その他：報告 第 24 回環境情報科学センター賞 ほか
(2024 年 10 月 31 日, 122pp.)
 - ④ 53 巻 4 号 特集：グリーンウォッシュを考える
＜環境政策の最前線＞再資源化の高度化を通じた資源循環の促進について
(2024 年 12 月 31 日, 110pp.)
- ・査読付き審査を経て採択となった会員からの投稿による研究論文等 10 編を掲載した。
 - ・科学技術振興機構 J-stage に電子版として公開した。

1.2 「環境情報科学学術研究論文集」の発行

- ・査読付き審査を経て採択となった環境情報科学に関する研究論文 33 編・報告 7 編を掲載した「環境情報科学学術研究論文集 38」（電子版）を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（公開日：2024 年 12 月 21 日、252pp.）。

1.3 英文誌「Journal of Environmental Information Science」の審査・発行

- ・査読付き審査を経て採択となった原著論文 3 編・短報 1 編の計 4 編を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol.2023, No.2」を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上に掲載論文の全文を公開した（公開日：2024 年 5 月 23 日、37pp.）。
- ・査読付き審査を経て採択となった原著論文 5 編・短報 1 編を掲載した電子ジャーナル「Journal of Environmental Information Science, Vol.2024 No.1」を発行し、科学技術振興機構の J-Stage 上

に掲載論文の全文を公開した（公開日：2024年10月16日、61pp.）。

2. 表彰事業

2.1 環境情報科学センター賞の表彰・報告

- 第24回環境情報科学センター賞は、センター賞選考委員会における慎重な審査・選考を経た後、理事会において最終審議を行い、下記の通り計4件（学術論文賞2件・技術開発賞1件・特別賞1件）を受賞者として決定した。表彰式および受賞者講演は2024年6月に開催した定時総会後に執り行った。

学術論文賞：「疫学情報にもとづいた急性疾病リスクへの気象・気候変化の影響に関する一連の研究」
（大橋 唯太 氏：岡山理科大学生物地球学部）

学術論文賞：「マルチスケールでの環境変動と作物生産の関係性に関する一連の研究」
（辰己 賢一 氏：名古屋市立大学データサイエンス学部）

技術開発賞：「地形モデルの作成による地域理解の促進に向けた防災教育プログラムの開発」
（坪井 塑太郎 氏：帝京大学経済学部）

特別賞：「足元から eco! などを通じて社会の様々なアクターに向けた長期にわたる環境情報提供活動」
（小林 光 氏：東京大学先端科学技術研究センター）

- 第25回環境情報科学センター賞の推薦募集を行い、推薦案件について審査・選考を行った。

2.2 環境情報科学ポスターセッションにおける優秀ポスターの表彰

2024年度環境情報科学 研究発表大会において開催された第21回環境情報科学ポスターセッションにおいて、計61編の研究発表が行われた。学術委員会を中心とする審査委員9名は発表内容並びに質疑応答への対応等を総合的に評価し、計8件の発表を優秀賞として選考し表彰した。

賞名	部門	タイトル	発表者名	所 属
理事長賞	学生	環境 DNA を用いた森林の生物多様性モニタリング手法の開発	川上仁之	慶應義塾大学 政策・メディア研究科
理事長賞	学生	地域の環境・社会・経済への影響を考慮した再生可能エネルギー導入適地の多目的最適化	三井健矢	大阪大学工学研究科
学術委員長賞	学生	再生可能エネルギー条例と導入ポテンシャルの関係	宮本誠隆	東邦大学大学院理学研究科
学術委員長賞	学生	地熱開発のリスクコミュニケーションに求められる情報共有の手法に関する研究-坑井掘削において想定外の事象が発生した事例の分析から-	千脇海都	東邦大学理学部
事務局長賞	学生	地域社会において大人が子どもへ自然体験を伝承するようになるまでの心理的過程の分析-	吉富瑠夏	茨城大学大学院農学研究科
事務局長賞	学生	表層土壌汚染物質の多様な曝露経路からの曝露量・健康リスク評価	濱邊将秀	横浜国立大学大学院環境情報学府
理事長賞	一般	孤立可能性集落における自立分散型災害対応の体制構築に向けた実践的研究ー長野県伊那市を事例としてー	坪井 塑太郎	帝京大学経済学部
学術委員長賞	一般	新しい里山里海を創る人たちを繋ぐコンソーシアム構築に向けた検討	包 薩日娜	国立環境研究所/京都大学フィールド科学教育研究センター

3. 学術交流事業

注) 講演者等の肩書は開催当時のものを記す

3.1 環境情報科学研究発表大会の開催

本大会では環境情報科学に関する研究論文発表、環境情報科学ポスターセッションでのポスター発表、一般公開シンポジウム、会員から募集した企画セッション・企画シンポジウムが行われた。なお、一般公開シンポジウム、企画セッションについては参加費無料で一般にも公開した。

日 程：2024 年 12 月 9 日 (月)

会 場：日本大学会館 (東京都千代田区九段南 4-8-24)

参加者数：275 名 (会員 211 名・非会員 64 名)

内 容：・環境情報科学に関する研究論文発表 (40 編)

・環境情報科学に関するポスターセッション (61 題)

・公募による企画セッション・企画シンポジウム「環境影響評価法の課題」＜オンライン開催＞

・一般公開シンポジウム「第 6 次環境基本計画 プラネタリーバウンダリー下のウェルビーイングの実現に向けてー環境情報科学への期待ー」

後援：環境科学会、環境経済・政策学会、環境アセスメント学会、環境福祉学会

出演者：基調講演 (オンデマンド動画配信) 諸富 徹 氏 (京都大学大学院経済学研究科教授)

特別講演 (オンデマンド動画配信) 秦 康之 氏 (環境省総合環境政策統括官)

モデレーター 村上暁信 氏

(筑波大学システム情報系教授、CEIS 常務理事)

パネリスト 甲斐沼 美紀子 氏 ((公財) 地球環境戦略研究機関研究顧問)

古田 尚也 氏 (大正大学学修支援センター 教授)

片谷 教孝 氏 (桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授)

ディスカッサント 一原 雅子 氏 (総合地球環境学研究所 基盤研究部 京都気候変動適応センター 特別研究員)

大倉紀彰 氏 (環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官兼政策調整官)

3.2 環境サロンの開催

最新の環境事情等に関するテーマを選択し、以下の環境サロンを開催した。

1) 第 157 回環境サロン「住宅・建築物ストックエネルギー需要のモデリングと脱炭素化への応用」

日時：2024 年 4 月 23 日 (オンライン開催)

講師：山口 容平 氏 (大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授)

参加人数：26 名 (会員 18 名・非会員 8 名)

2) 第 158 回環境サロン「実務と研究の二刀流ー働きながら学位を取得する」

日時：2024 年 5 月 28 日 (オンライン開催)

講師：荒牧 まりさ 氏 (環境省 九州地方環境事務所 統括自然保護企画官)

徳永 哲 氏 (風景デザイン研究所 株式会社 STEP 代表取締役)

多田 裕樹 氏 (株式会社ヴォンエルフ 取締役)

コメンテーター 松井 孝典 氏 (行事委員・大阪大学)

参加人数：44 名 (会員 12 名・非会員 32 名)

3) 第 159 回環境サロン「木更津の未来についての「語り場」ー学生企画ワークショップー」

日時：2024 年 10 月 12 日

場所：木更津金田みたて海岸

語り手 東京湾の伝統食材「江戸前ちば海苔」の漁師 (金田漁協)

空き地の有効活用を目指すバナナ農家 (木更津ファーム)

伝統食材の復活を目指す蓮根農家 (G. B. L. FARM)

食と農・アートと自然をテーマとする複合施設 (KURKKU FIELDS)

企画運営：日本大学生物資源科学部・小谷ゼミ&きさらづ DMO

参加人数：13 名

4) 第 160 回環境サロン「実務と研究の二刀流ー働きながら学位を取得する (2)」

日時：2024 年 11 月 12 日 (オンライン開催)

講師：植田 直樹 (株式会社三菱地所設計 ランドスケープ設計室 室長)

塚田 伸也（前橋市 都市計画課 課長）
加藤 麻理子（環境省 吉野熊野国立公園管理事務所 所長）
コメンテーター 小谷 幸司（行事委員・日本大学） 参加人数：13 名
参加人数(申し込みベース) 67 名（会員 19 名・非会員 48 名）

3.3 若手研究者交流会の開催

今後の環境情報科学分野の発展を担う若手研究者のネットワーク化に貢献することを目的に、2023 年度の試行結果を踏まえて、「若手研究者交流会 2024」を開催した。

日 程：2024 年 9 月 14 日（土）～15 日（日）（1 泊 2 日）

場 所：小田原市内（講義等：おだわら市民交流センター UMECO，エクスカッション：NPO 法人 MOTTAI（小田原市米神 247）周辺）

参加者：大学院進学予定の学部生、博士前・後期課程学生 11 名（原則会員）

講 師：村上暁信氏（筑波大学）・芳賀智宏氏（大阪大学）・竹内彩乃氏（東邦大学）・堀啓子氏（滋賀県立大学）・石崎英治氏（株式会社クイージ）・中野翔太氏（NPO 法人 MOTTAI）

3.4 「集まれ環境が学べる大学の研究室」の開催

環境分野に興味を持ちこれから大学へ進学する高校生向けの企画として、関東地方の環境が学べる大学の 14 研究室が集まり、研究内容を紹介するイベント「集まれ環境が学べる大学の研究室」を開催した。

開催日：2024 年 12 月 8 日（日）13 時～17 時

場 所：日本大学法学部（神田三崎町キャンパス）10 号館 1052 号室

参加者：高校生等約 50 名

出展した研究室：

- ・茨城大学工学部都市システム工学科
- ・宇都宮大学農学部農業環境工学科
- ・慶應義塾大学環境情報学部
- ・千葉大学園芸学部緑地環境学科
- ・中央大学理工学部都市環境学科
- ・東京科学大学（旧・東京工業大学）環境・社会理工学院融合理工学系
- ・東京女子大学現代教養学部経済経営学科
- ・東京都市大学環境学部環境創生学科
- ・東邦大学理学部生命圏環境科学科
- ・筑波大学理工学群社会工学類
- ・日本工業大学基幹工学部環境生命化学科（2025 年 4 月～、現・応用化学科）
- ・日本大学生物資源科学部環境学科・国際共生学科
- ・横浜国立大学都市科学部環境リスク共生学科
- ・立正大学地球環境科科学部環境システム学科

4. 第 2 次中期計画 2025 及び 2030 長期ビジョンとアクションプランの作成・実施

第 2 次中期計画 2025 及び 2030 長期ビジョン（2023 年 3 月策定）に基づき、2025 年度の中期計画目標年度に向けて、中期計画の「アクションプラン」を作成した。同プランに於いて優先度が高いとされた 19 プロジェクトを中心として、以下を実施した。

- ・一般公開シンポジウム、環境サロン、論文執筆セミナーの充実に加え、新たに若手研究者交流会の本格開催、高校生向け大学の研究室の紹介イベントの開催（3. 参照）。
- ・社会人向け交流・研究会の開催準備、研究発表大会での高校生を対象とした発表セッションの開催準備、
- ・学生・若手等が参加しやすい会員制度のための「入会金及び会費に係る規程」の改訂準備、
- ・ML 及び SNS 等の活用方策の検討のための懇談会の開催等

5. 調査研究事業

2024 年度は主に下記の調査研究等を受託し、実施した。

発注先	件 名
環境省	令和6年度化学物質情報検索支援のための情報収集・整理及び課題検討等業務
環境省	令和6年度エコチル調査に関する企画評価等実施業務
環境省	令和6年度化学物質ファクトシートの更新及び作成にかかる調査検討業務
環境省	令和6年度エコチル調査に係る広報等実施業務
環境省	令和6年度化学物質アドバイザー派遣事業運営業務
環境省	令和6年度化学物質に関するリスクコミュニケーションやリテラシー向上に向けた調査検討業務
環境省	令和6年度石綿健康被害の救済制度に関する海外動向調査等調査業務
環境省	令和6年度エコチル調査ホームページリニューアルのための検討業務
環境省	令和6年度環境保健サーベイランス調査に係る集計（3歳児）、並びに解析及び環境評価（3歳児及び6歳児）に関する委託業務
国土交通省	令和6年度下水道における化学物質排出量の把握及び化学物質管理計画の策定推進等に関する調査業務
経済産業省	令和6年度化学物質規制対策（化管法届出外排出量推計に関する調査）
経済産業省	令和6年度化学物質規制対策（化管法の適正な執行推進における調査）
川崎市	令和6年度公害防止調査研究業務委託
川崎市	環境技術・国際連携プロジェクト支援業務委託
神戸市	神戸市域における効果的な暑熱環境適応施策の実施手法や新たな施策にかかる調査・研究業務
国立研究開発法人国立環境研究所	令和6年度エコチル調査における成果発表に係る調査・検討業務
国立研究開発法人国立環境研究所	令和6年度中心仮説解析計画検討ワークショップ運営補助業務
国立研究開発法人国立環境研究所	令和5年度子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）データ共有事務局運営検討業務
国立研究開発法人国立環境研究所	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）データ共有システムの説明資料作成等業務
国立研究開発法人国立環境研究所	インタラクティブな一般廃棄物データ閲覧システムの作成業務
国立研究開発法人国立環境研究所	市区町村別エネルギー消費・CO2排出量推計データの作成業務
国立研究開発法人国立環境研究所	エコチル調査質問票設問項目リスト作成等業務
国立研究開発法人国立成育医療研究センター	エコチル調査に関するアウトカム測定方法等の検討支援業務委託
独立行政法人環境再生保全機構	「熱中症被害状況等」検証データ整備業務
独立行政法人環境再生保全機構	令和6年度地方公共団体が実施するソフト3事業のアンケート集計及び分析等業務
民間企業	グリーン調達及び環境マネジメントシステム運用支援業務
民間企業	木陰のトンネル暑熱対策効果実証試験
民間企業	エアコン使用時のオフィス内熱環境測定調査（現地測定）
民間企業	環境問題と解決に向けた取り組み集及び環境用語集原稿作成業務
民間企業	容器包装リサイクル法に基づく市町村ごとの令和5年度分別収集量等集計業務
民間企業	令和6年度地域熱中症リスク管理支援業務

6. その他

6.1 広報体制の強化

- ・当センターの活動内容に関する広報強化のための検討を行った。具体的には、ML による会員からの情報の発信方策、及び学生・若手研究者向けの SNS アプリ等の活用方策について、懇談会等により検討した（4. 参照）。

6.2 他団体主催事業への後援等

以下の行事について後援・協賛した。

- ・第10回全国高校生環境スピーチコンテスト
主催：千葉商科大学「
- ・一般社団法人 日本リスク学会 第37回シンポジウム 『AI のリスクを考える：生体認証技術から生成 AI まで』
開催日：2024 年 6 月 21 日（金）
場 所：オンライン開催
- ・日本学術会議総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会 公開シンポジウム「海底地質災害と洋上風力開発」
開催日：2024 年 11 月 14 日（木）
- ・日本リスク学会第 37 回年次大会
開催日：2024 年 11 月 15 日（金）－17 日（日）
場 所：静岡県立大学草薙キャンパス
- ・令和 6 年度 第 28 回多摩市?のまわりの環境地図作品展
場 所：オンライン開催
多摩市立聖ヶ丘中学校 1 年 齋藤 佑有さんの作品『聖中周辺の緑の量の変化』に当センター理事長賞を授与した。

II. 会員の増減

2024 年度末における会員状況は次の通りである。

会員種別	前年度末 (口数)	入会者数	退会者数	会員区分変更 者数増減	2024年度末 会員数	年間増減数
正会員	679	48	65	0	662	▲ 17
シニア会員	25	0	3	0	22	▲ 3
名誉会員	6	0	0	1	7	1
準会員	71	57	29	-1	98	27
賛助会員	18	0	1		17	▲ 1
	(18)	(0)	(1)		(17)	(▲ 1)
購読会員	51	0	0		51	0
	(52)	(0)	(0)		(52)	(0)
総計	850	105	98	0	857	7

III. 総会・理事会・各委員会の開催

2024 年度における総会・理事会・各委員会等の開催は次のとおりである。

1. 定時総会の開催

【定時総会】

開催日：2024 年 6 月 28 日（金）
会 場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
議 題：第 1 号議案 2023 年度事業報告
第 2 号議案 2023 年度決算報告
第 3 号議案 2024 年度事業計画（案）

第4号議案 2024年度予算計画(案)

第5号議案 「役員の報酬等の支給の基準」の改訂について

第6号議案 名誉会員の推挙

出席会員(委任状を含む): 389人

2. 理事会の開催

- ①開催日: 2024年5月24日(金)
会 場: オンラインおよび環境情報科学センター 会議室
出席理事 14名・出席監事 2名
- ②開催日: 2024年9月19日(木)
会 場: オンラインおよび環境情報科学センター 会議室
出席理事 15名・出席監事 2名
- ③開催日: 2024年12月23日(月)
会 場: オンラインおよび環境情報科学センター 会議室
出席理事 12名・出席監事 2名
- ④開催日: 2025年3月7日(金)
会 場: オンラインおよび環境情報科学センター 会議室
出席理事 14名・出席監事 2名

3. 審議員会議の開催

開催日: 2024年5月24日(金)
会 場: オンラインおよび環境情報科学センター 会議室
出席審議員: 9名

4. 委員会の開催

- (1) 総務委員会 (2024年5月13日・12月18日・2025年3月6日)
- (2) 企画委員会 (2024年6月26日・12月13日・2025年3月3日)
- (3) 編集委員会 (2024年6月3日・9月18日・12月20日・2025年3月10日)
- (4) 英文誌刊行等委員会 (2024年4月1日・6月20日・10月22日・12月19日)
- (5) 学術委員会 (2024年5月20日・9月3日・11月28日・2025年3月4日)
- (6) 論文審査委員会 (2024年6月24日・8月20日・10月15日)
- (7) 環境情報科学センター賞選考委員会 (2025年1月24日・2月26日)
- (8) 行事委員会 (2024年6月12日・7月24日・2025年1月28日)

(ほかメール委員会等の開催あり)